

◆就活のためのマナー講座を実施

就職活動の場面では、ビジネスにふさわしいマナーや振る舞いが求められます。学生気分ですら初対面の相手とコミュニケーションをとってはいけません、印象がマイナスに評価されてしまいます。

就職活動開始に向け、女子短期大学部では11月1日(金)に就活マナー講座を実施しました。

キャリアデザイン学科の授業科目「ビジネスマナー概論」、「ビジネスマナー実習」を担当する土方直子講師から、会社説明会や訪問のアポイントメントの取る際の電話のかけ方・メールの効果的な書き方などをはじめ、就職活動における各シーンでのマナーについて学びました。



さらに、面接試験に備えて、学生それぞれの姿勢や目線、言葉づかいについて実技を通して指導していただきました。

また、この講座において自分たちでデザインした「カレッジスーツ」を着用し、好印象を与える身だしなみについても確認しました。

参加した学生たちは、マナーをきちんと身に付け、自信を持って就職活動に臨みたいと真剣に取り組んでいました。

女子短期大学部では、今後も各種キャリア教育支援プログラムを随時実施し、学生の就職活動をサポートしていきます。現在は、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)というキャリアの専門資格を持ったスタッフによる個別面談を行っており、進路に関するあらゆる相談に対応しています。



= CDAからひとこと =

あなたは、今の自分をどう思っていますか？これからどのような人生を歩み始めたいですか？短大生時代とは、日々新しい経験を通して自分に向き合い、自分と他人の双方の力で成長し、社会に旅立つための大切な時間です。

1年生の秋 Semester 個別面談を順次進めております。一人ひとりに向き合い成長と選択をサポートしてまいります。(加賀谷 晴美)

◆ヴォイストレーニング講座で明瞭で品格ある話し方を

女子短期大学部では、キャリア教育支援プログラムの一環として、11月12日(火)・13日(水)に萬崎由美子氏(北海道放送株式会社)を講師にお招きし、ヴォイストレーニング講座を実施しました。

これから始まる就職活動では、会社説明会や面接・グループディスカッションなど人前で話す場面が多くなります。「声」は、人格を表します。その人の人柄、健康状態、心の状態、感情までそのほとんどを映し出すと言われます。

そこで、この講座ではよく通り響く声や話し方を身に付け、自信を持って自分自身を表現することができるよう、正しい姿勢と呼吸法、発声共鳴法、母音・子音調音について実践的に学びました。

受講した学生は、「正しい声の出し方ができるようになり、声が響くのに驚きました」、「萬崎先生から教えていただいたアナウンサーとして身に付けたプロの技を、ぜひ面接試験に活かしたいです」、「正しい発音と響く声で自分の名前を言えるようになり感激しました」と感想を述べていました。



◆郷土料理「鮭の飯寿司」作りを体験

地場食材で郷土料理を作る実習を11月23日(土・祝)、札幌市内のレストラン「高台自宅かふえみもぎ」で実施しました。

授業科目「地域社会演習B」(担当教員:小山茂教授)における体験プログラムの一環で、調理師の谷村由紀氏の指導のもと、冬の北海道の貴重な保存食として伝わる郷土料理「鮭の飯寿司」作りにはチャレンジしました。

参加した学生は、慣れない手つきながらも包丁で新巻鮭を三枚におろしたり、野菜を切り揃えたり、樽に材料を隙間なく漬け込むなどの調理をしていきました。室温と水分の量に注意しながら、4週間ほど寝かせて完成となるため、お正月の味として食べるのを楽しみにしていました。

